

『もりおかの短歌』秋の部

〈一般部門〉優秀賞十首

逝ゆきし友とも

包つづみ込こむまち盛岡もりおかの

こころ優やさしきふるさとの人ひと

盛岡市 赤坂 昌信

辛つらい時ときいつも仰あおぐは岩手山いわてさん

強つよく生いきよと

鼓こ舞ぶしてくれぬ

盛岡市 小林 貴史

六十年前ろくじゅうねんまえ

開運橋かいうんばしのたもとにて

水みづあそびする母ははとわれ

宮城県仙台市 角館 俊一

あちこちに君きみの面影おもかげみるような

こずかたあき
不来方の秋

きみきゅうじつ
君なき休日

東京都練馬区

鳥嶋

翔陽

ききおよぶ

おおあと うなばら
大つなみの後 海原も

いましず みやこ うみ
今は静けき 宮古の海よ

神奈川県南足柄市

加藤

享子

おおつなみ
大津波

しゃけちぎよ さら
鮭の稚魚をも攫ひしか

そじょう み なかつがわ
遡上の見えぬ中津川なる

盛岡市

餘目

忠吉

す いわて かわ くろ
やまめ住む岩手の川を黒くする

はら ひか
腹ビレ光り

きゅうざわのぼ
急沢登る

盛岡市

田村

勝男

宵の写メ

みそか

三十日提灯娘に送る

静けく返すもりおかの月

釜石市 中嶋 多喜子

新妻と過ごせし家よ赤錆びる

にいづま

す

いえ

あかさ

トタンも秋陽の

あきび

日だまりと照る

ひ

て

福岡県太宰府市 仁田原 秀明

啄木が愛でたる虫の子孫かも

たくぼく

め

むし

しそん

好摩の駅で

こうま

えき

蟋蟀を聞く

こせむし

き

盛岡市 中島 久光

秋の部（ジュニア部門） 優秀賞

該当なし

【講評】

一般部門

ふるさとに皆何を求めるのでしょうか？優しい母との
思い出、鼓舞してくれる父、気の置けない友人…、もう
いないのかもしれませんが。でもそこに行けば、鮮やかな
記憶とともに、大切な人にもう一度逢える―そう思わせ
てくれる場所を私たちは「ふるさと」と言っているので
しょう。

令和三年十二月選 秋の部

投稿数 百二十三首

選者 山本 玲子